

## KJ法って知っていますか

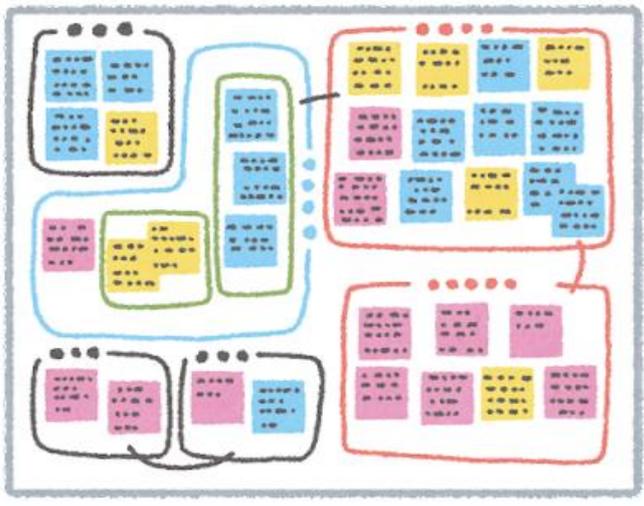


「KJ法(ケージェーほう)」ってご存じですか?近年、研修会ではよく用いられる方法の一つです。当センターの研修会の中でも用いられることが多いです。ここでは「KJ法」について、ご紹介いたします。

**○KJ法の由来は…** 「KJ法」は川喜田二郎氏が開発したデータをまとめる手法です。1967年文化人類学者の川喜田二郎氏が著書『発想法』の中で効果的な研究、研修方法であると紹介しました。その発案者の川喜田二郎氏のイニシャルから「KJ法」と名付けられました。

**○簡潔にいうと…** アイデアや思い付きを効率よく整理し、グループ化してまとめていく方法です。  
注1ブレインストーミングなどで得た情報をカードに書き、同じ系統のカードをグループ化して、系統ごとに分類されたデータを整理、分析し、図解などを用いてまとめていきます。

**○メリットは…** KJ法のメリットは、①ブレインストーミングで集めたアイデアの可視化、②注2ロジカルシンキングにまとめられる、③課題や問題点が抽出される、ということです。下のイラストのようにしていきます。



注1 ブレインストーミングとは、参加者がある問題について自由にアイデアを出し合った中からよいものを抽出し、さまざまな発想を得て、問題解決に結び付けていく手法のことです。

注2 ロジカルシンキングとは、複数のものごとが複雑に絡み合った問題を分解、整理して、それぞれの関係性の筋道を立てて、論理的に結論を導き出す手法です。自分の発想や意見を他の参加者にわかりやすく伝えることができ、ビジネススキルとしても広く活用されています。

★新潟県の生涯学習の情報なら

ラ・ラ・ネット

検索

新潟県立生涯学習推進センター

問い合わせはこちら TEL:025-284-6110



## 5. KJ法のやり方、方法、手順

KJ法は、

1 カード作り 2 カードの整頓 3 図解 4 文章化

という流れで進めていきます

### ①カード作り

ブレインストーミングなどで出されたアイデアや意見をカードなどに書き出す。カード作りを基本として進行します。

### ②カードの整頓

続いてカードを整理してアイデアを分類していく段階です。

ブレインストーミングなどで作られたたくさんのカードをテーブルにバラバラに広げていく。無造作に並んだカードを眺めて、どんなことが書かれているかを意識して見ていくと、アイデアの全体像がつかめる

### ③図解

いよいよ論理的整序の作業に入ります。

- グループ化されたカードの束を机の上に並べる。ラベルの表札をよく読み、意味がつながり関連性のあるカードごとに束を並べ替える。この作業を空間配置という
- 次にカードの束を一番下の段階まで広げる。元のグループの範囲内で、隣接するグループとの親近性に注意しながら空間配置を行う
- 次は図解化をしていく。カードの束同士を線でつないだり囲んだりして関係性が分かりやすいように図解化する。因果関係、相互関係、対立・反対関係、同値関係、原因、結果などの関係性で表す
- 大グループの図解が終了したら、中グループ、小グループの図解を行っていく

#### ④文章化

図解化した関係性を文章にしてアイデアをまとめていきます。

- ラベルの束や、図解化したものから文章を書き起こしていく。それぞれのグループのカードに書かれている言葉を可能な限り使って、グループごとに1つの文章につなげていく
- グループ同士で関連性がある場合は、大テーマから小テーマへと流れていくことを意識しながらグループ間で文章をつなげる
- 時間的な前後関係によって展開することで、図解の間違いに気付いたり、新たな発想やヒントを得たりする可能性もある
- 図解を見ながら、このことから考えられる内容、どのグループが最も重要かなどの発表を行い、議論を深め参加者全体の理解と共有を図る

たくさんのアイデアや思いつきをカードにし図解化、文章化していくことで、KJ法で導き出された新しいアイデアが形になります